

【提案営業のポイント】

省エネ総合サイト
**「エコサス」を活用した
 省エネ提案のおすすめ**

「ECO-SAS(エコサス)」は当社の省エネ総合サイト。
 省エネについてのさまざまな情報提供と、
 実際の提案活動に活用できる便利なエネルギー管理機能の二つで成り立っています。
 「エコサス」のご活用で、より説得力のある省エネリニューアル提案が可能になります。
 ぜひ皆様方のビジネスの拡大にお役立てください。

<http://www.eco-sas.jp/>

会員登録
無料

会員登録(無料)、
ログインはこちらから

機能②

エネルギー管理サービス

- エネルギー総量管理サービス
- 報告書作成支援サービス
- 計測データアップロードサービス
- 自動計測システムサービス

…などについて
解説しています

節電対策の項目を
設定すれば、
何%節電できるか
予測します

太陽光発電の
発電量予測や
コストシミュレーションが
できます

お問い合わせは
こちらから(※)



機能①

情報発信サービス

● 管理標準作成マニュアル
管理標準(エネルギーの
管理マニュアル)の
作成ガイドです

● 補助金情報
省エネ提案に役立つ
国の補助金情報(随時更新)

● ユーザーレポート……
「エコサス」を
活用されている
企業様のご紹介

● こんなにある
省エネ手法
省エネノウハウの
一部をご紹介

● 省エネチューニング
設備の運用を
調整する秘訣をご紹介

ユーザーレポートでご紹介している電気工事会社様の声

有限会社フジテック様
●和歌山県

「電気工事会社はお客様
の電気設備に関して
具体的な事情をうかがっ
ており、その知識と『エコサス』を組み合わせ
れば、的確な省エネ提案が可能になります」



エコ・ネット様
●福岡県

「機器のタイマーが壊れ
て、常にONになってい
た、などの事実が次々と
明らかになりました。『見える化』で明らか
になったこれらの事実が、宝の山に見えました」



●「エコサス」とは？

省エネについて、大きく二つの機能を持つウェブサイトです。

機能① 情報発信サービス

省エネに関する最新情報満載。省エネのトレンドがいち早くわかります。

- 「管理標準」作成マニュアル(会員様専用)
- 補助金情報
- ユーザーレポート(事例)
- こんなにある省エネ手法(会員様専用)
- 省エネチューニング…など。

機能② エネルギー管理サービス

省エネ提案はまず「見える化」から。簡単な操作で、「見える化」から省エネ法に定められた報告書づくりまでサポートします。

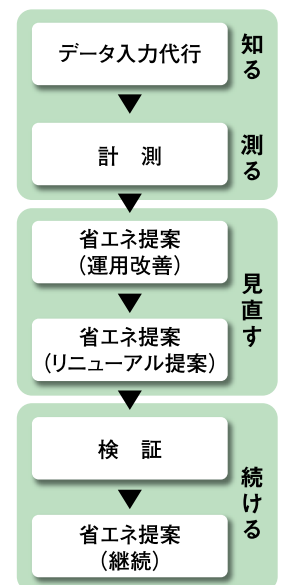
- エネルギー総量管理サービス** **無料** 電力会社やガス会社などから送られてくる伝票の数値を入力するだけで、月々のエネルギー使用状況が集計されてグラフなどで「見える化」されます。
- 報告書作成支援サービス** **無料** 省エネ法に定められた「エネルギー使用状況届出書」「定期報告書」「中長期計画書」のデータが、ワードやエクセル形式のファイルとして出力できます。
- 計測データ アップロードサービス** **無料** 「多回路エネルギーモニタ」などで計測したデータを、SDカードで取り出し、「エコサス」にアップロードして「見える化」します。
- 自動計測システムサービス** **有料** 計測した使用電力量や温湿度のデータを専用回線を使ってエコサスデータセンターに送り、「見える化」します。データ入力の手間がかからないので、遠隔地に施設がたくさんあるような場合に、特に便利です。

●提案営業にご活用ください

お客様のエネルギーデータを入力代行することは、単にお客様の手間を省くだけではありません。データを入手することで、お客様の実態に即したご提案が可能になります。またエネルギーの伝票データを集計することで、原単位での比較やエネルギー削減余地の見積りなどもできます。

さらに、多回路エネルギーモニタなどで計測を行えば、運用改善の提案や設備改修の際の省エネ効果の検証などもできるので、お客様との継続した関係づくりが可能になります。

「エコサス」はそうしたビジネスモデルを実現する第一歩となる営業支援ツールです。



●まずは実感してください(会員登録の方法)

まずは電気工事会社様ご自身で、「エコサス」の利便性を体験ください。始めに会員登録をお願いします(無料)。

- ①パソコンの検索サイトで「エコサス」と入力してください。
- ②「エコサス」トップ画面左上の「ログイン」パネルで、「新規登録はこちらから」をクリック。
- ③あとはガイダンスに従って必要事項を記入するだけ。
- ④御社の電力量などのデータを入力して、「エコサス」の機能をご確認ください。

エコサス Q&A

Q. 電力使用量のデータを過去何年分か、エクセルで管理している。「エコサス」を使う場合、その分のデータを全部入力し直さなければならぬのか？

A. エクセルデータを「エコサス」に登録し直す代行サービスがあります。過去の蓄積データをそのまま、エコサスで一元管理することができます。

Q. 最初に建物の名称や住所、規模など基礎情報を入力する必要があるのでは？ 面倒そう。

A. 登録時の必須記入項目は、施設名、施設種別、住所、担当者名などですが(その他選択項目や任意記入項目もあり)、施設が多い場合は入力の手間が大変です。これら施設情報も、当社が入力代行するサービスがあります。

◎詳しくはエコサス事務局にお問い合わせください。※「エコサス」トップ画面の左下に、問い合わせフォームのリンクがあります